

なくす会 東西南北

15人で成人式宣伝、消費税なくしてと男性

熊本の会は1月12日、恒例の成人式宣伝を行いました。寒い中でしたが15人が参加しました。



●熊本の会

署名した男性は「自分は個人事業主だが、周りが消費税のことはよくわからないので、インターネットで調べて教えるようにしている。消費税はなくしてほしい」と話していました。

サンタも登場し雰囲気抜群 「対話が大事」



●福島県の会

福島県の会と各界連は24日、福島市で小雨の中11人の行動。なくす会の服飾部雅事務局長は「物価対策で最も効果があるのが消費税、一律減税」、共産党県委員会の町田和史委員長は「ラピダスなど大企業への補助金や行き過ぎた減税をやめればすぐに消費税は減税できる」と訴えました。

郡山の会は12月24日、郡山駅

前で10人が宣伝（写真）。雨を避けてアーケード街でサンタも登場して雰囲気上がり、片手に傘、片手に荷物の方にもお願いし、5人が署名に応じてくれました。参加者は「やっぱり対話が大事。相手の考えも分かる」と話していました。

Xマスケーキが買えない、減税こそ急いで

●三重県の会

桑名駅前では12月24日、三重県の会、民商、新婦人など9人で宣伝。なくす会の星野常任世話人は「15号ケーキが4800円でとても買えません。卵やバターも値上がりで家計がとてもしかしい、消費税の減税をしてほしい」と訴えました。津市でも5人で宣伝しました。

消費税減税なしの補正予算を批判、19人が署名も

●京都の会

京都の会は12月20日、JR松井山手駅で常任世話人や青木剛

次郎日本共産党京田辺市議も参加して10人で宣伝。臨時国会で成立した補正予算について「物価高対策は一度きりのお米券、商品券を配布する給付金やガソリン暫定税率廃止と光熱費補助のみ。消費税減税こそ、誰もが恩恵を得られる」と批判しました。19人から署名が寄せられました。

また24日には京都市四条烏丸交差点で日本共産党の井上哲士前参院議員や迫京都府議、北山山田両京都市議らも加わり15人でクリスマス宣伝。ポケットティッシュなども配り、千円の募金も寄せられました。

消費税減税への期待大きい、署名も多数

●和歌山県の会

和歌山県の会は12月23日、JR和歌山駅前前で8人が宣伝。消費税減税と聞いて、駆け寄って署名してくれる人や「消費税減税してくれるのかの？」と聞く人など、消費税減税への期待を感じ